

2010 ARDF 長野大会

3.5Mhz 6月13日

原村
樺の木

緊急時連絡

救護場所はゴール地点

等高線間隔 5m

縮尺 1:15000

OCAD®

OCAD NO 4533

0 500 1000

2010長野大会(3.5MHz)での 私の判断と行動

2010年6月13日(日)
於 長野県原村

安島 巧

0. スタート地点まで

集合場所はゴール地点。スタート地点までの移動は登りだったので、「これは競技者にとってありがたいこと。なぜなら登りだと登るのに精一杯で探索できないから。」と話しながら行った。

初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？

2010 ARDF 長野大会

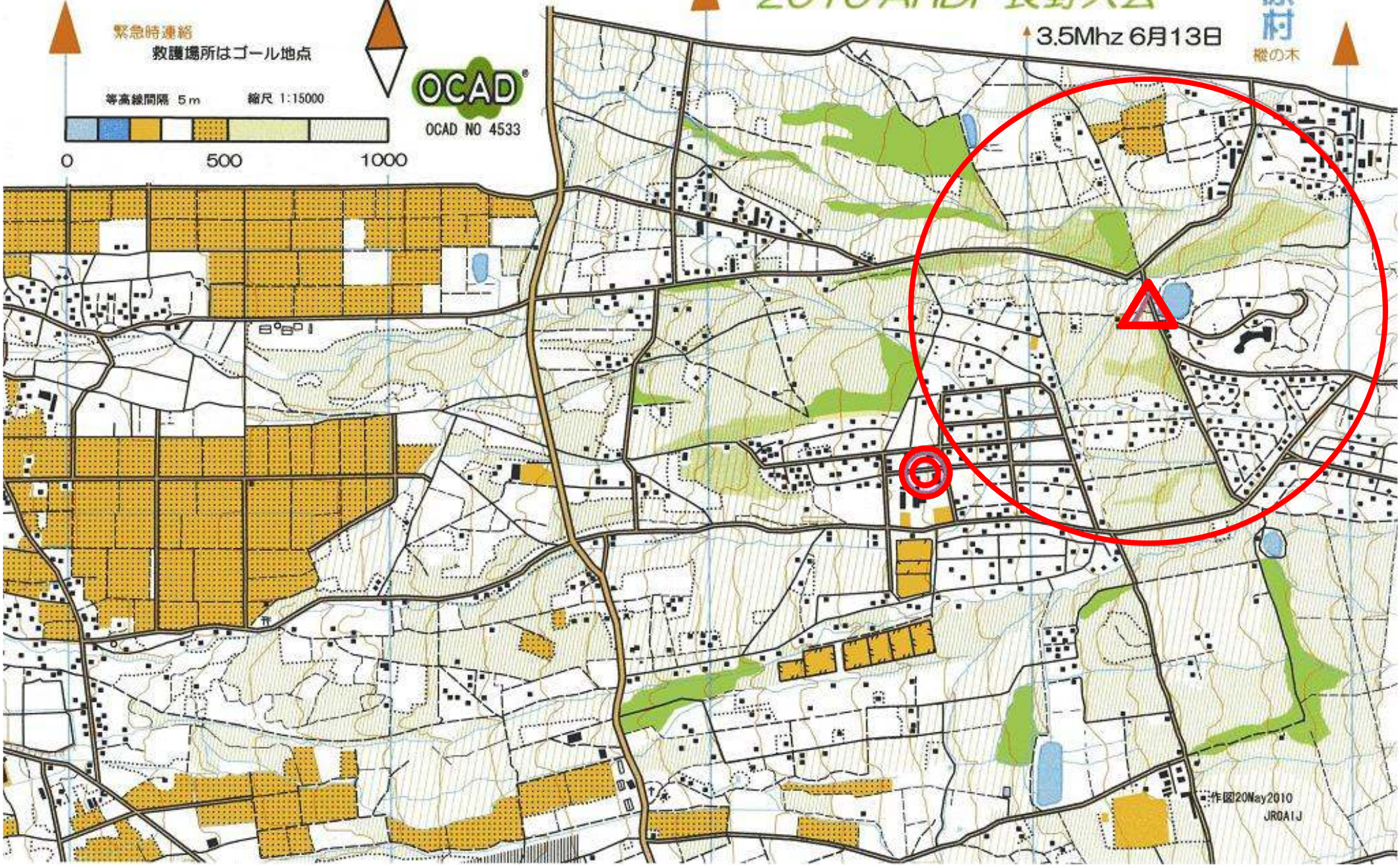
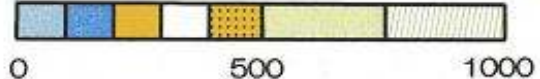
3.5Mhz 6月13日

原村
樅の木

緊急時連絡
救護場所はゴール地点

等高線間隔 5m 縮尺 1:15000

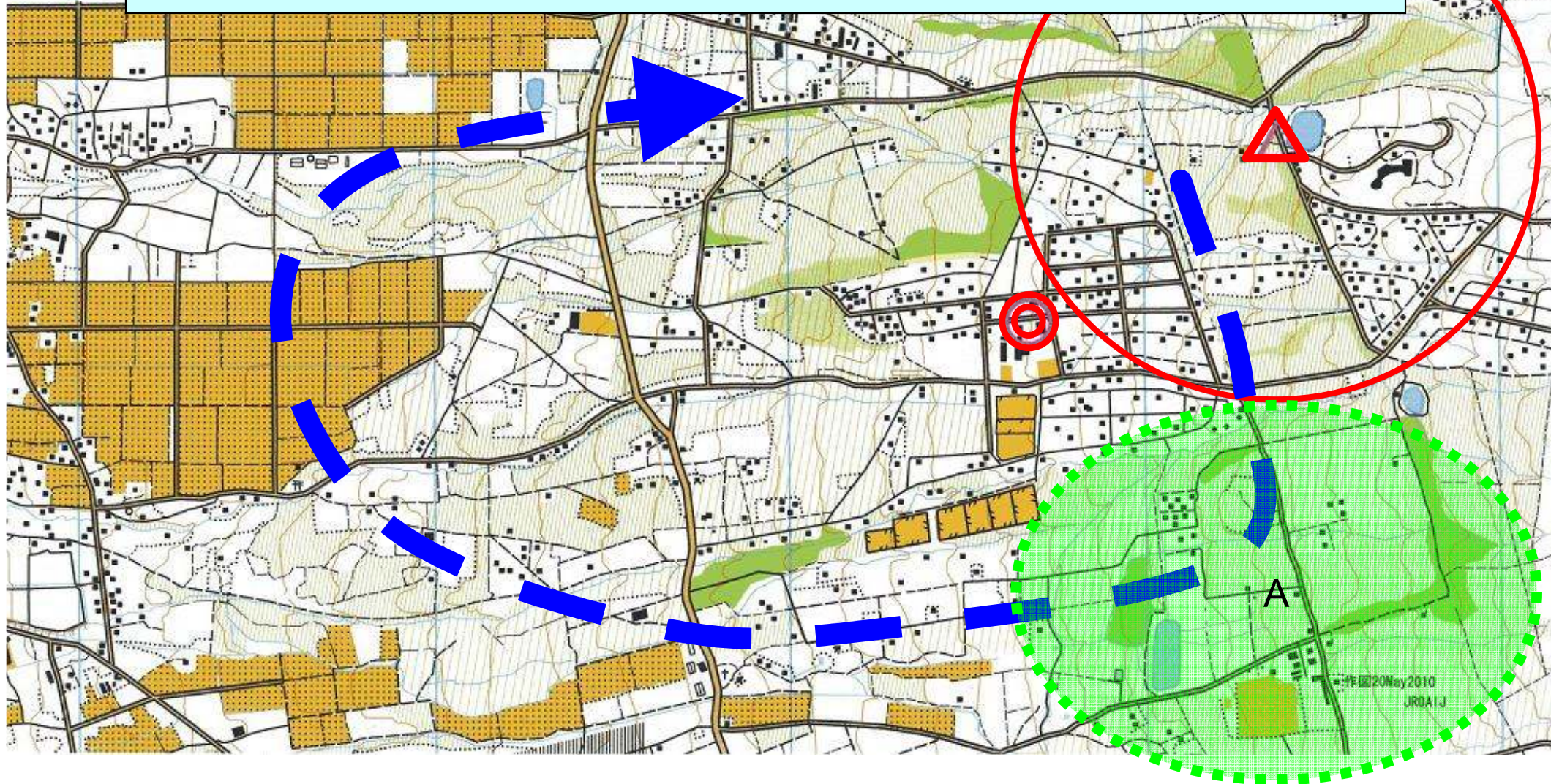
OCAD®
OCAD NO 4533



作図20May2010
JRDAIJ

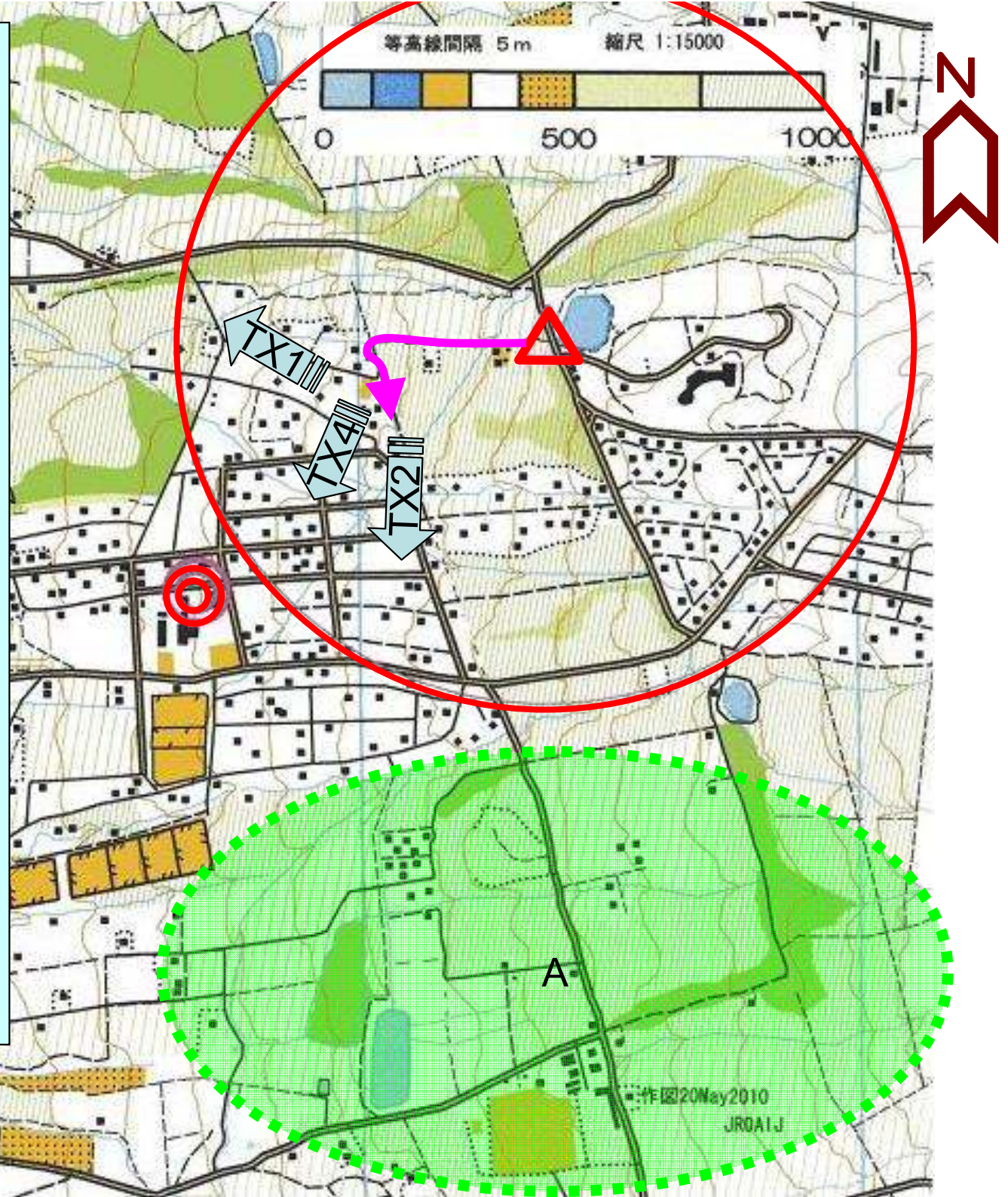
①スタート前の地図読み

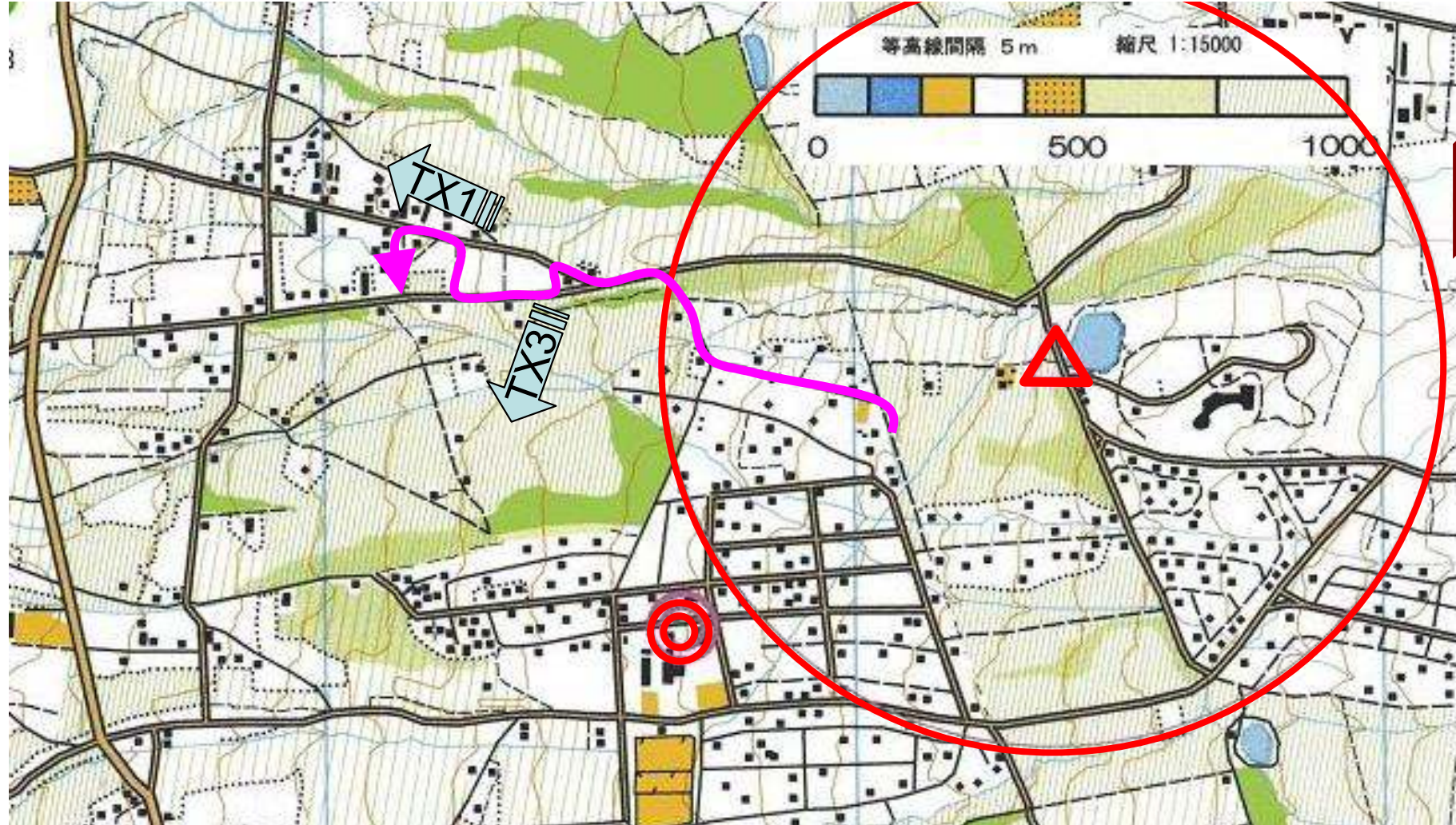
高所からのスタート。スタート円が記入済みでありがたい。3.5MHzなので、逆方向の円外わずかなエリアがこわい。しかし、西方向にかなり誘導しそうな
ので、さすがにないだろう。しかし油断は禁物。下りで探索するというセオリー
では右回り。しかし、TXがゴールより西であれば、ゲットしてゴールする左回り
も十分にありえる。要するにAエリアになればどちら回りでも同じ。



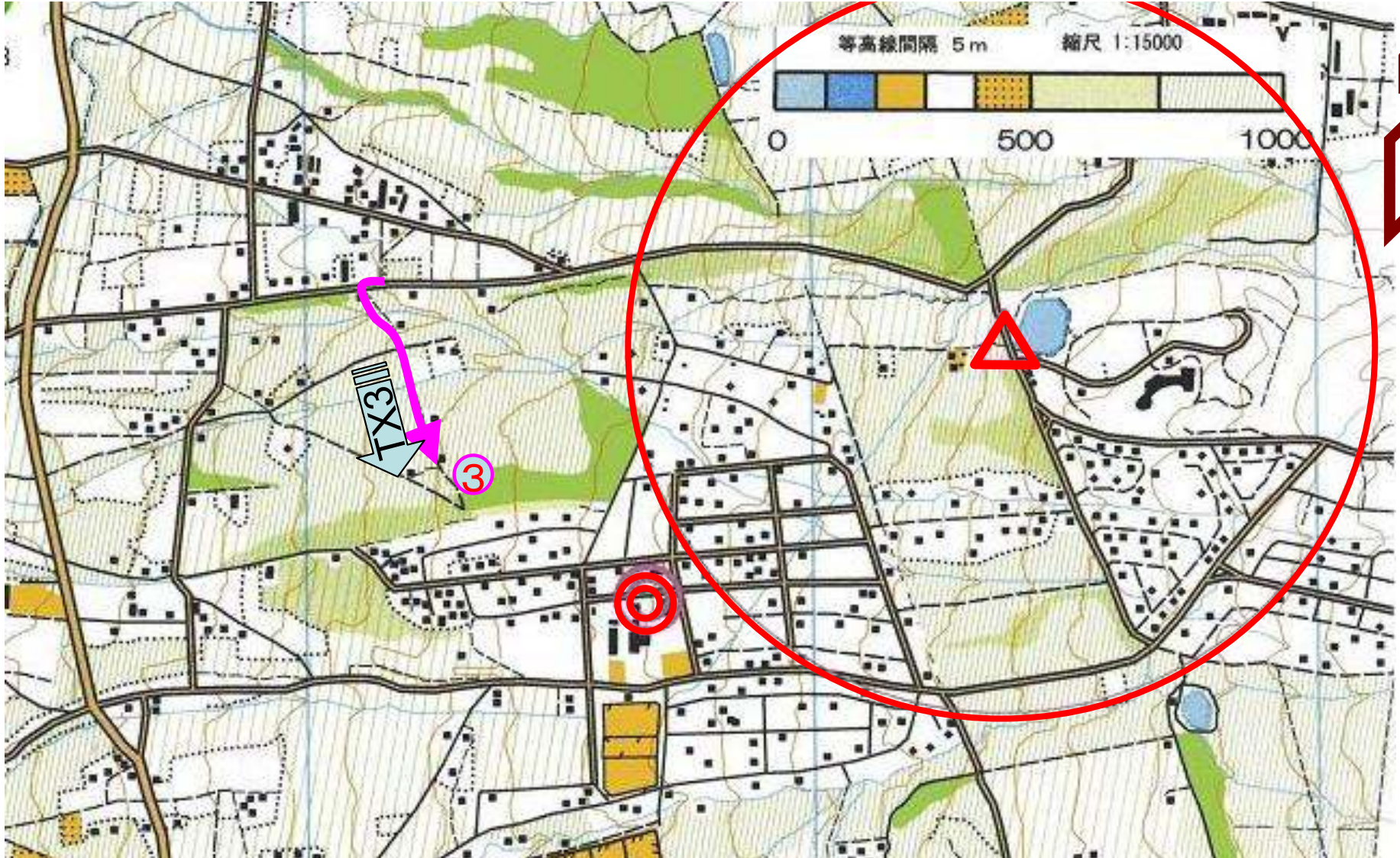
②探索開始地点

なにやらノイズが多い。誘導コースに沿った電線下ではずっとNGだ。ADSLか？とにかく誘導コースを下る。最初のT字路まで来るとたくさんのひとが方探している。ここが事実上の探索開始地点だ。しかし付近は電線だらけ。折角なので、自分は電線のない南方向へ進み方探。問題のAエリア側にあるのは、TX2,4でどちらもゴール南側。自分がゲットしなければならぬTX4は弱く、ゴールよりかなり南側にありそう。そして、強いTX1は西側だ。よって、初心を翻して左回りコースを選択して第一ターゲットをTX1とする。



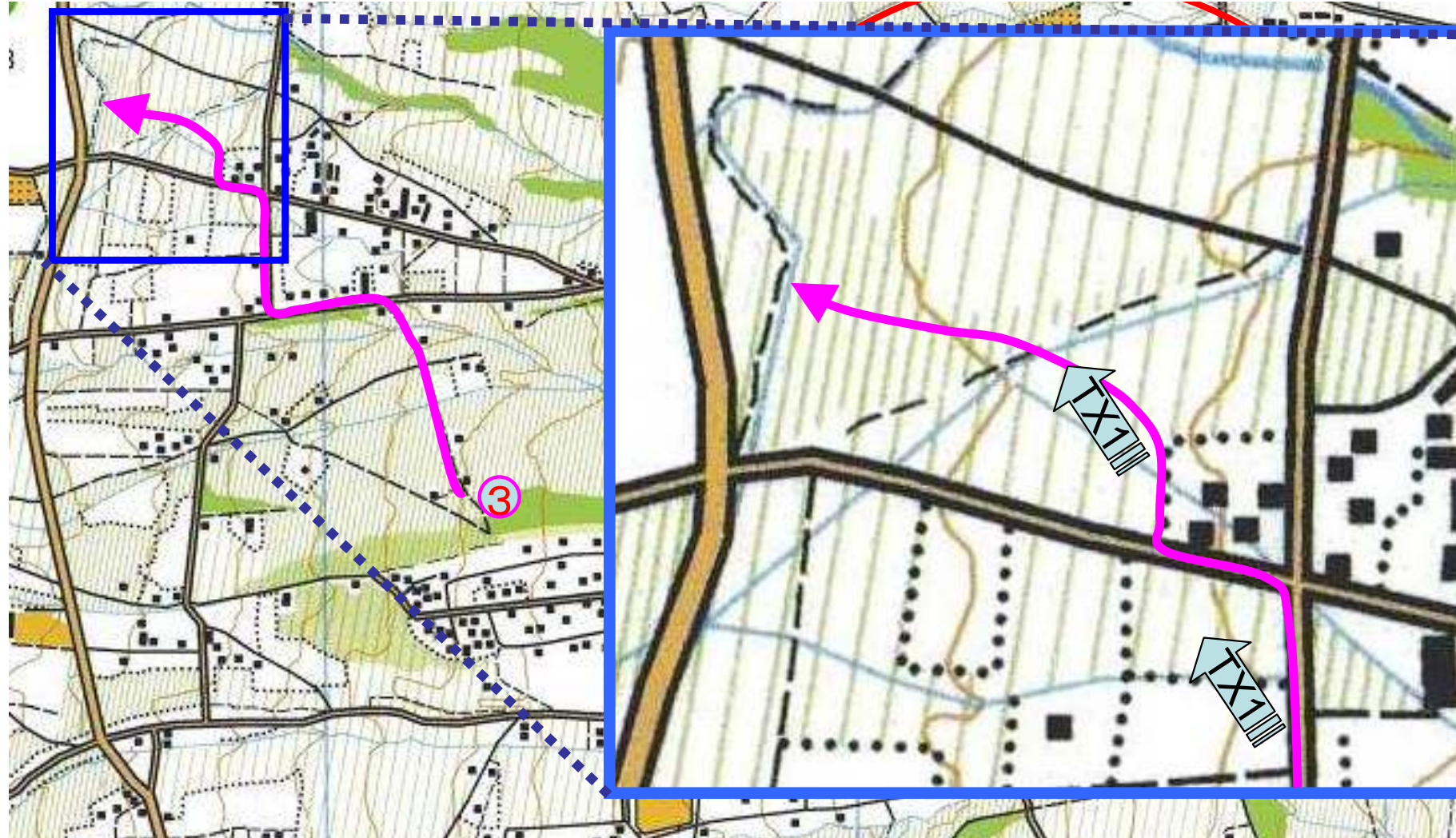


③TX3キャッチ
TX1に向かうコースはY字分岐の連続。TX1を聞きながら分岐を選択したり、あまり進まないうちに道路をチェンジする作戦だ。しかし、ゴール方向にTX3が結構強く聞こえる。勝間田君が藪に突っ込んでいく。さすがにこの強さでは私は突っ込めない。TX3をゲットしてからTX1に向かうべきか、帰りにTX3に行くべきか迷う。それぞれが鳴くたびに行ったりきたりしてしまった。自分でわかっていながらまずい行動をしてしまった。やはりTX3が強いので、TX3に向かうことにする。



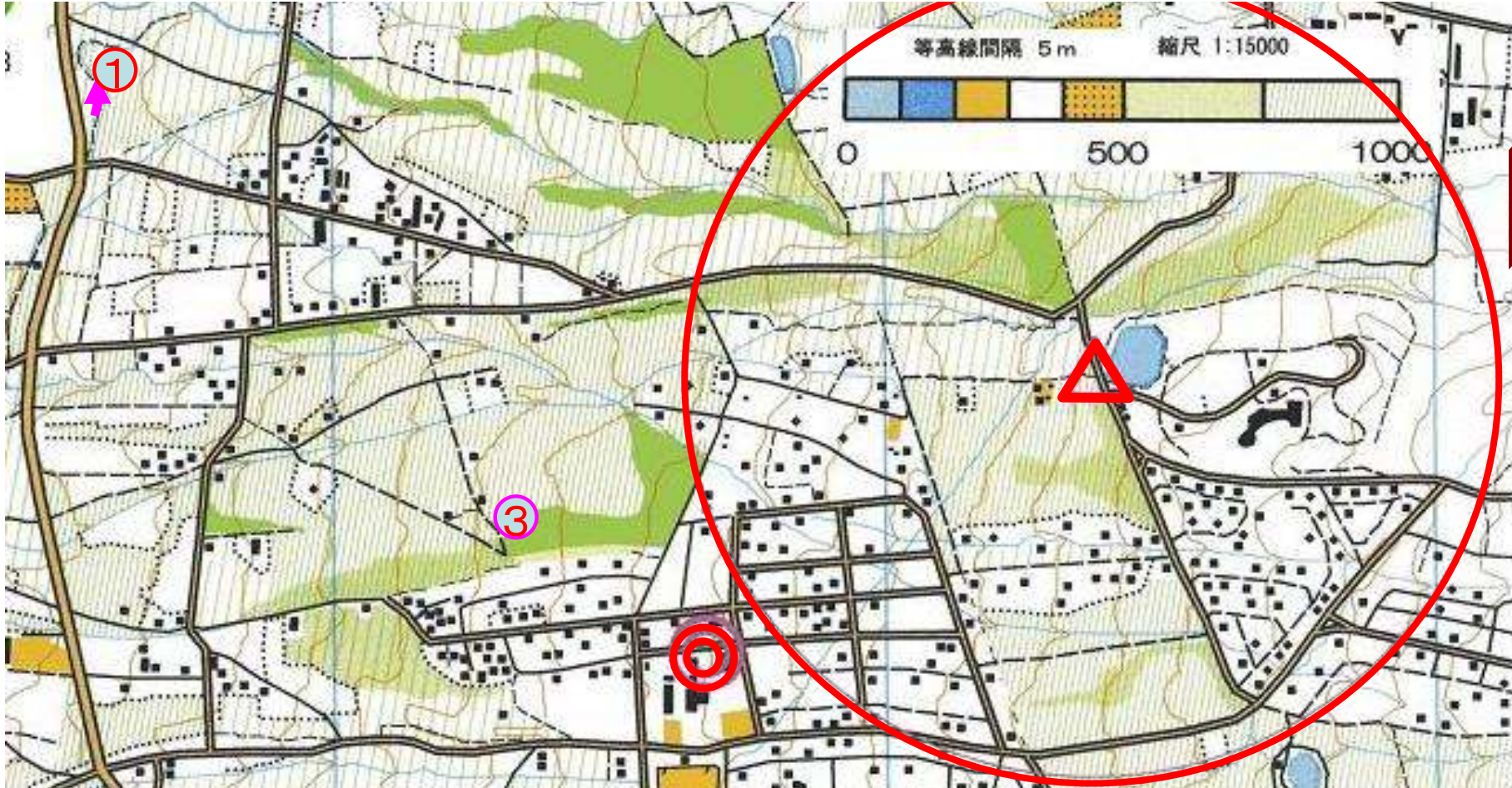
④TX3

入っていく道を探すのに少し苦労したが、見つけて入っていく。TX3は道なり方向だ。勝間田君とすれ違う。先を越された。TX3が鳴く。強力だ。あわててATTを絞り方探。TX3から西内さんが出てくる。やっぱりここか。TX3ゲット



⑤TX1に向かう

藪方向だ。少しそちらに向かって入って、TX1を待つ。もっと奥のほうだ。しかし進めない。苦労しながらやぶを進む。失敗したのが方位磁石を確認しなかったこと、まっすぐ進むつもりが曲がってきていることに気づきながらも、進める方向へと進む。道が見えてきた。地図で方向を確認すると、かなり曲がってきてしまった。とにかく移動できる場所へ行こうと進み小川のほとりに出る。



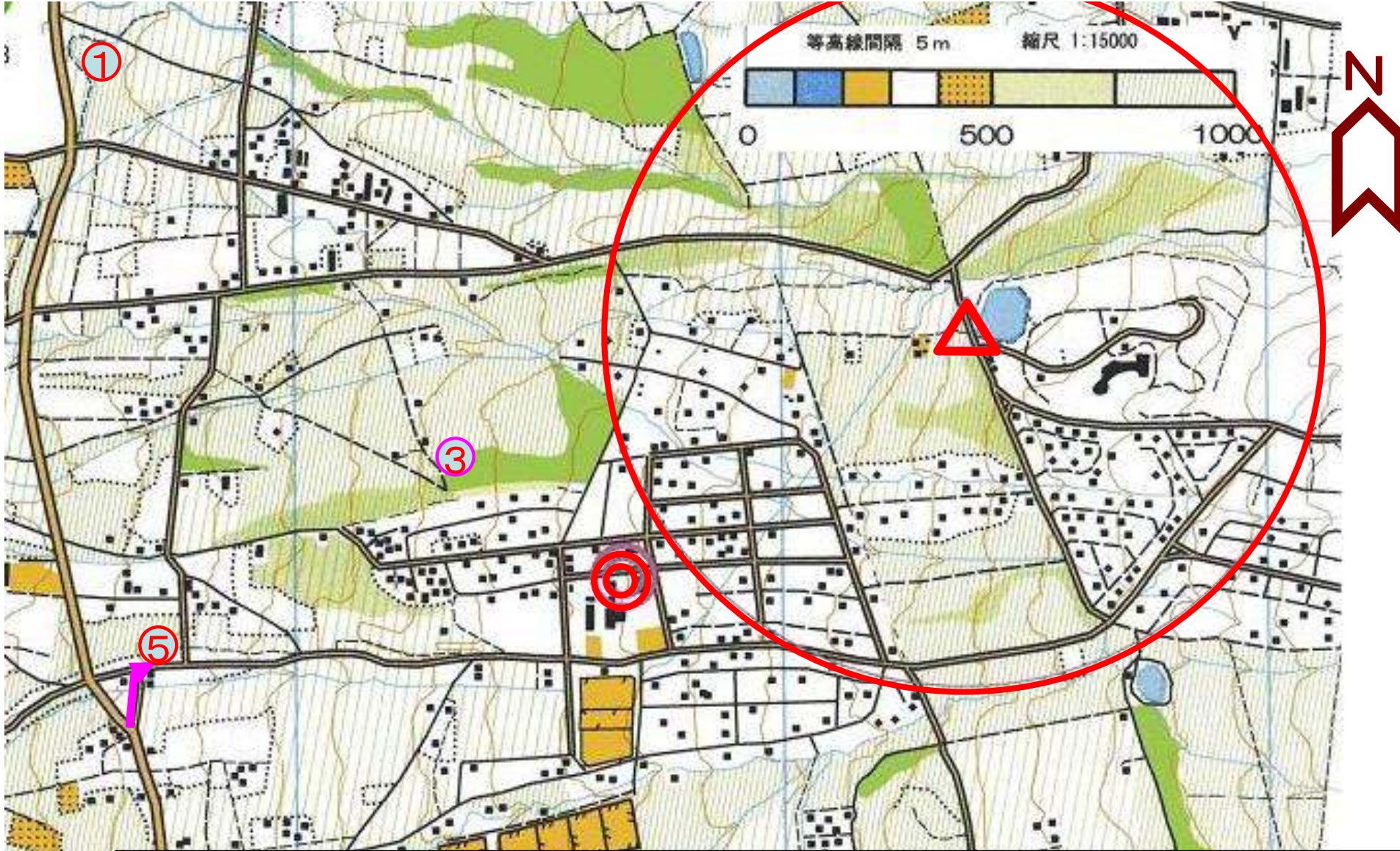
⑥TX1

TX1が鳴く。小川に沿って進む。TX1が見えたと思った瞬間ささっと現れたブルーの影。小倉さんだ。小倉さんはゲット直後、前かがみになって背を低くして地図を確認している。でもしゃがんでいない。これがアスリートなのか。TX1をゲット。勝間田君も現れゲット。私が小川にもどるときに私を抜き、その勢いで小川を跳び越している。すごい、流石に私にはできない。





⑦ひたすら南へ。
南への道(八ヶ岳道路)で方探すると、TX2,4は南東のほう、TX5は道なり。従ってこの道より西側はない。助かった。TX5は道路のわずかに東側にあるが、切通し状態になっているので、道路の西側を進む。少しでも山の影響を少なくするためだ。交差点で信号待ち。横断歩道で太田先生とすれ違う。渡ったところでTX5が鳴く。近いがその方向はすぐ東側、今度は八ヶ岳道路を渡らなければならないが、ここでは無理。仕方がないので、南に走りながら連続方探。だんだん角度が変わってくるので大体の位置が掴めた。

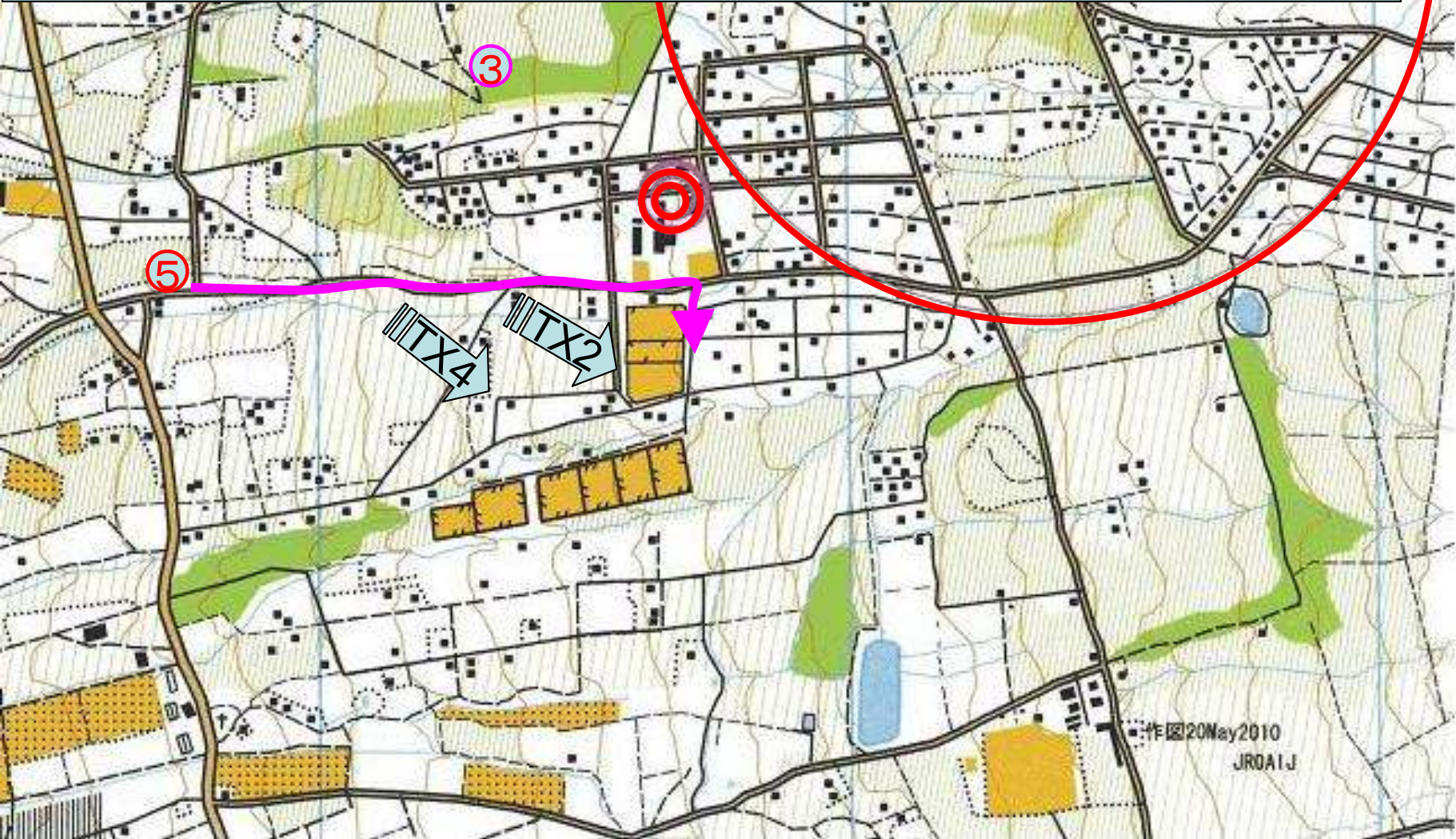


⑧TX5

道路を渡り三角道路を戻る。TX5があると思われる山の上を見上げながら、北上。角に岡田さんを発見。やはりここら辺だ。山への上り口を確認してTX5を待つ。鳴いた。やはり山の上だ。上り口から山に入るが、結構な藪で進めない。早くしないと鳴き止んでしまう。時間との勝負だ。TX5ゲット。



⑨ひたすら登り
ゴール方向に向かってひたすら坂を登る。疲れてきた。ターゲットのTX4は結構遠そう。行ったらタイムオーバー必至だ。仕方がないので、代わりにTX2を取りに行くことにした。グラウンドの上の道を東へと向かう。何人かとすれ違いますが、みんな歩いている。グロッキーだよなと思っているとTX2の時刻が近づく。



①

等高線間隔 5m

縮尺 1:15000

⑩TX2

道沿いは電線があるので、グラウンドに下りてTX2を聞く。鳴いた。TX2は道なり方向だ。あわてて階段を駆け上り、道路を道なりに走る。建物奥の藪の中だ。思うように進めない。停波したので、ゆっくりと進みTX2ゲット。

③

④

⑤

②

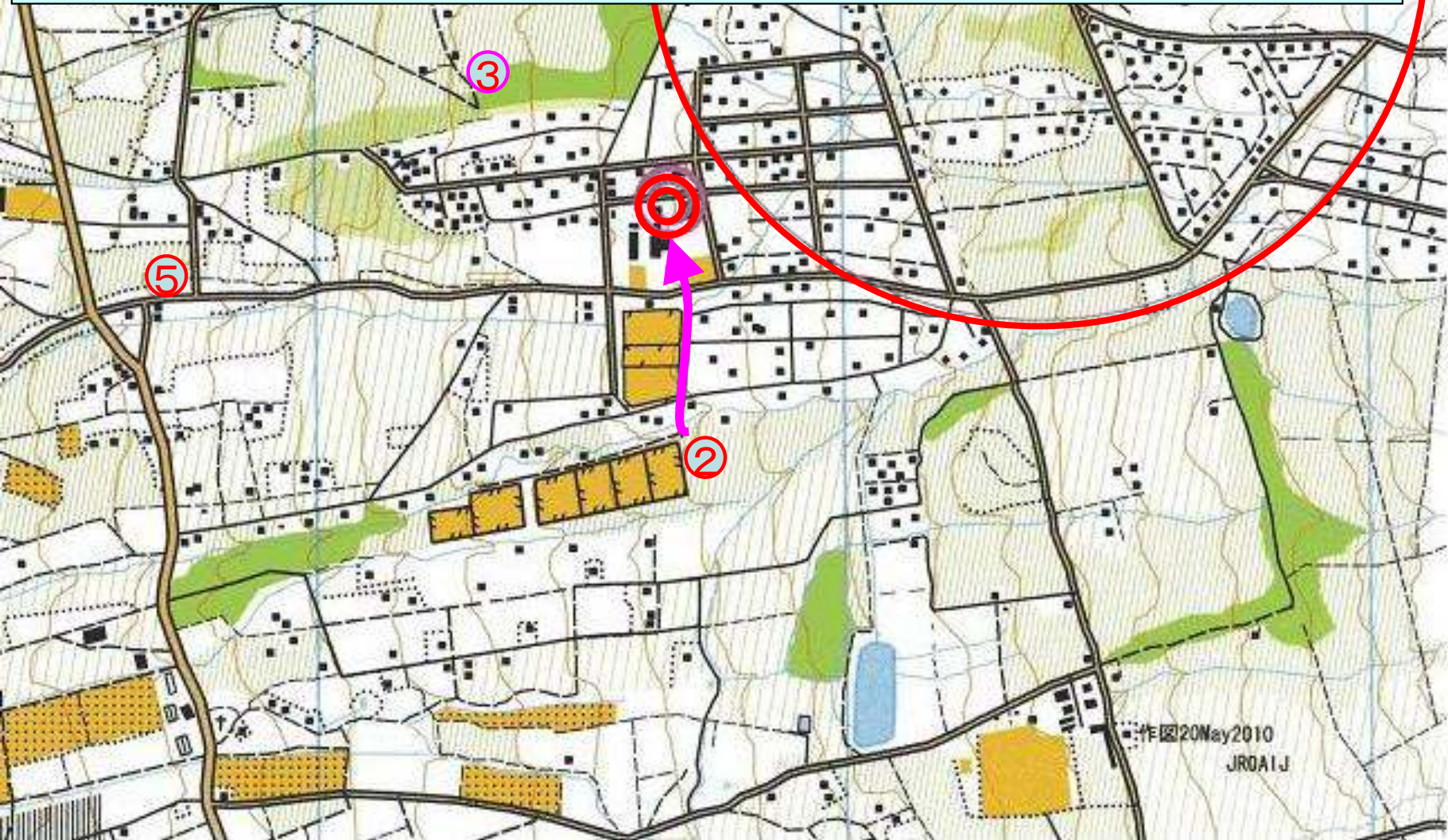
作図20May2010

JR0A1J

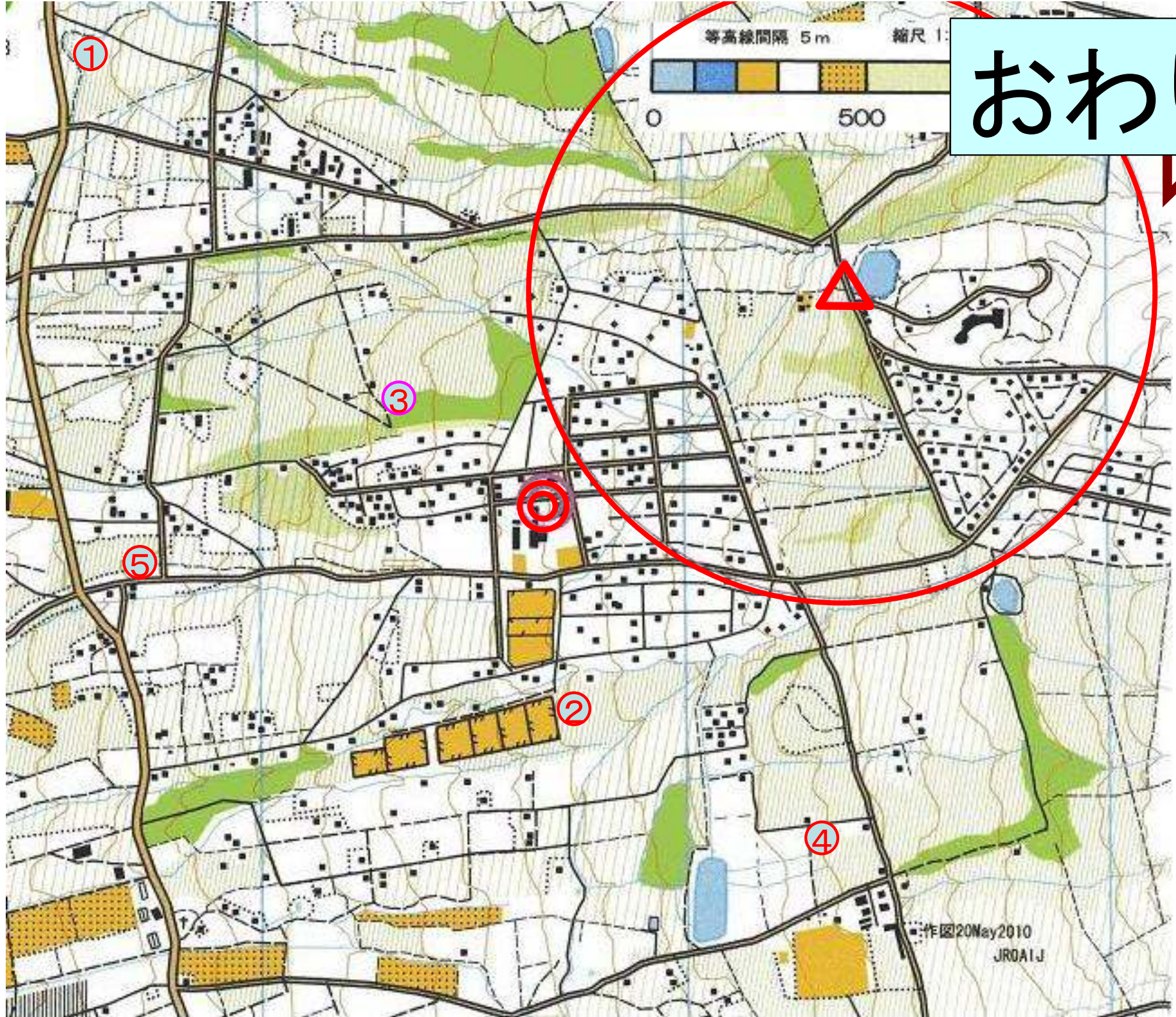




⑪GOALへ
民家を避けるためにまた藪を通り道にでる。そしてとぼとぼとまっすぐにゴールへ。



おわり



等高線間隔 5m 縮尺 1:



①

③

⑥

⑤

②

④

作図20May2010
JR0A1J

反省

下りで探索するとあれだけ心に誓っていたのに、刹那的に決心を変えてしまった自分が情けない。審判長講評でも新井さんが「上から攻めるのが常套手段。今回の場合は右回りでTX4から」とレクチャー。自分はまだまだだ。またTX1に向かうか、TX3に向かうかで判断がつかず、行ったりきたりしてしまっただのが痛恨のミス。